

2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社NEXYZ Group

コード番号 4346 URL <https://www.nexyzgroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 太香巳

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理本部長 (氏名) 松井 康弘 TEL 03-5459-7444

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	5,243	6.3	174	△15.8	175	△14.5	34	△76.0
2023年9月期第1四半期	4,932	12.8	207	97.9	205	93.7	143	—

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 95百万円 (△44.4%) 2023年9月期第1四半期 172百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	2.65	—
2023年9月期第1四半期	11.06	—

(注) 1. 2023年9月期第1四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率は、1,000%以上となるため「—」と記載しています。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年9月期第1四半期	13,895	3,537	10.4	111.36
2023年9月期	15,445	3,701	10.9	129.01

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 1,448百万円 2023年9月期 1,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2024年9月期	—	—	—	—	—
2024年9月期（予想）	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	23,000	4.8	1,000	30.5	1,000	37.7	600	△19.9
								46.12

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	13,471,240株	2023年9月期	13,471,240株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	461,781株	2023年9月期	461,661株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	13,009,486株	2023年9月期1Q	13,010,083株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、コロナ禍からの需要の回復が進んだほか、訪日客需要も加わり、内需を中心に個人消費や設備投資に改善の兆しが見られました。一方で、世界的なインフレ傾向や円安基調の長期化、中国経済の動向など、懸念も残る状況が続いております。GDPの伸び率は、2023年7月～9月に前年同月比0.7%減となりました。消費者物価指数（生鮮食品は除く）は、前年同月比2.3%～2.9%の間で推移しました。

このような状況の下、当社グループでは、「ネクシーズZERO」における金融機関等の提携パートナーを通じた新たな顧客層の開拓や、2022年10月より開始した「ACCEL JAPAN」（以下、「アクセルジャパン」）を中心に各種サービスの業容の拡大に注力しております。

これらの結果、売上高5,243百万円（前年同四半期比6.3%増）、営業利益174百万円（前年同四半期比15.8%減）、経常利益175百万円（前年同四半期比14.5%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は34百万円（前年同四半期比76.0%減）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来の「電子メディア事業」の名称を「メディア・プロモーション事業」に変更しております。この変更はセグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

[エンベデッド・ファイナンス事業]

エンベデッド・ファイナンス事業では、設置工事費用を含めた初期投資オールゼロで、顧客に最新の省エネルギー設備等を導入できる「ネクシーズZERO」の提供、利用者獲得業務及び省エネルギー設備等の販売を行っております。

当第1四半期累計期間においては、コロナ禍からの需要回復が飲食業や宿泊業を中心に続いたことで、引き続き設備投資需要は堅調に推移しております。金融機関や各種団体からの紹介による受注も増加したほか、金融機関については、銀行や保険代理店に加えて、信用金庫との提携も進めることで新たな顧客の開拓に努めております。

これらの結果、エンベデッド・ファイナンス事業は、売上高4,099百万円（前年同四半期比7.4%増）、セグメント利益201百万円（前年同四半期比46.2%減）となりました。

[メディア・プロモーション事業]

メディア・プロモーション事業では、インターネットを中心とした各種メディア・媒体を通じて、企業のプロモーションを支援するサービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間においては、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」が開始2年目となり、新規顧客だけでなく契約更新企業が加わり、好調に推移しております。そのほか、電子雑誌やECサポート等各種ソリューションにおいては一部案件が減少した一方で、経営効率の改善により収益が増加しております。

これらの結果、電子メディア事業は、売上高1,156百万円（前年同四半期比4.4%増）、セグメント利益201百万円（前年同四半期比156.3%増）となりました。

[その他事業]

その他事業では、電力小売「ネクシーズ電力」の提供を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、電力供給業務を他社に移管したことから、電気代の回収代行・既存顧客への窓口対応のみ行っております。

これらの結果、その他事業は、売上高1百万円（前年同四半期比91.0%減）、セグメント利益0百万円（前年同四半期セグメント損失21百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は13,895百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,549百万円の減少となりました。

① 資産の状況

(流動資産)

流動資産は9,634百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,507百万円の減少となりました。これは主に、リース債権が966百万円、現金及び預金が580百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は4,261百万円となり、前連結会計年度末に比べて41百万円の減少となりました。これは主に、敷金及び保証金6百万円増加した一方で、繰延税金資産が77百万円減少したことによるものであります。

② 負債の状況

(流動負債)

流動負債は8,400百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,068百万円の減少となりました。これは主に、買掛金が623百万円、賞与引当金が219百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

固定負債は1,958百万円となり、前連結会計年度末に比べて316百万円の減少となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定を除く）が313百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は3,537百万円となり、前連結会計年度末に比べて164百万円の減少となりました。これは主に、非支配株主持分が65百万円増加した一方で、配当等により利益剰余金が225百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月14日公表の「令和5年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はございません。

なお、連結業績予想の将来予測につきましては、以下のとおりです。

[エンベデッド・ファイナンス事業]

エンベデッド・ファイナンス事業においては、設備投資需要が底堅く、業務用LED照明、冷蔵庫、空調等の設備投資案件が引き続き増加していくものと予想されます。地域金融機関や各種団体による紹介割合が増加しており、新規営業の割合が減少することで、効率的な営業活動が行っております。同事業では、日本全国に30か所以上の営業拠点を設けており、採用活動を強化することで営業人員を更に増員してまいります。

[メディア・プロモーション事業]

プロモーション支援業務につきましては、タレントを起用した企業プロモーション支援プロジェクト「アクセルジャパン」において、更なる販路開拓による新規契約企業数の拡大と顧客満足度向上による契約更新数の増加を図っております。

電子雑誌業務につきましては、主力電子雑誌「旅色」において、全国規模の営業体制により地方自治体及び周辺施設への提案を強化することで、広告売上の増加を見込んでおります。

ソリューション業務については、主力サービスである「ECサポートサービス」等の新規契約数増加や1社あたりの取引規模拡大を図っております。

[その他事業]

その他事業につきましては、電力小売「ネクシーズ電力」の電力供給業務を外部企業に移管して当社は取次のみを行う事業モデルへ転換しております。移管が完了して約1年が経過し、今後は小康状態に落ち着く見込みです。

上記各事業の前提に基づき、主要事業であるエンベデッド・ファイナンス事業、メディア・プロモーション事業がそれぞれ伸長することで、令和5年9月期に特別利益を計上した反動はあるものの、全体として増収増益基調となることを見込んでおります。

2024年9月期 通期連結業績見通し (2023年10月1日～2024年9月30日)

売上高	23,000百万円
営業利益	1,000百万円
経常利益	1,000百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	600百万円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,982	4,401
受取手形及び売掛金	2,520	2,567
リース債権	3,172	2,205
商品	617	532
未収入金	434	383
その他	668	740
貸倒引当金	△1,253	△1,196
流動資産合計	11,142	9,634
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	976	974
工具、器具及び備品（純額）	97	93
その他（純額）	2	2
有形固定資産合計	1,077	1,070
無形固定資産		
ソフトウェア	98	103
その他	0	0
無形固定資産合計	98	103
投資その他の資産		
投資有価証券	1,027	1,020
敷金及び保証金	645	651
繰延税金資産	924	846
その他	1,703	1,588
貸倒引当金	△1,173	△1,019
投資その他の資産合計	3,127	3,087
固定資産合計	4,303	4,261
資産合計	15,445	13,895

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,825	1,201
短期借入金	1,700	1,800
1年内返済予定の長期借入金	1,636	1,552
未払金	738	680
未払法人税等	280	—
解約調整引当金	1,554	1,751
賞与引当金	333	113
その他	1,401	1,301
流動負債合計	9,469	8,400
固定負債		
長期借入金	1,928	1,614
その他	345	343
固定負債合計	2,274	1,958
負債合計	11,743	10,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	1,130	1,130
利益剰余金	1,155	930
自己株式	△898	△899
株主資本合計	1,487	1,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	184
為替換算調整勘定	2	2
その他の包括利益累計額合計	190	186
非支配株主持分	2,023	2,088
純資産合計	3,701	3,537
負債純資産合計	15,445	13,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,932	5,243
売上原価	2,228	2,305
売上総利益	2,703	2,937
販売費及び一般管理費	2,496	2,763
営業利益	207	174
営業外収益		
受取給付金	1	—
受取手数料	0	2
営業支援金収入	1	—
貸倒引当金戻入額	—	25
その他	2	0
営業外収益合計	6	28
営業外費用		
支払利息	7	6
支払手数料	0	0
寄付金	—	20
その他	0	0
営業外費用合計	8	27
経常利益	205	175
特別利益		
投資有価証券売却益	9	23
特別利益合計	9	23
特別損失		
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	215	198
法人税、住民税及び事業税	91	24
法人税等調整額	△49	74
法人税等合計	41	99
四半期純利益	173	99
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	65
親会社株主に帰属する四半期純利益	143	34

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	173	99
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△3
為替換算調整勘定	△1	△0
その他の包括利益合計	△1	△3
四半期包括利益	172	95
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	143	30
非支配株主に係る四半期包括利益	29	65

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エンベデッ ド・ファイ ナンス事業	メディア・ プロモーシ ョン事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,809	1,102	4,911	20	4,932	—	4,932
セグメント間の内部売 上高又は振替高	8	5	13	—	13	△13	—
計	3,817	1,107	4,925	20	4,946	△13	4,932
セグメント利益又は損 失(△)	373	78	452	△21	430	△223	207

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△223百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エンベデッド・ファイナンス事業	メディア・プロモーション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,090	1,150	5,241	1	5,243	—	5,243
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	5	14	—	14	△14	—
計	4,099	1,156	5,255	1	5,257	△14	5,243
セグメント利益	201	201	403	0	403	△228	174

(注) 1. セグメント利益の調整額△228百万円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。

なお、全社収益は、主に連結子会社からの管理業務受託料であり、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用及び各報告セグメントに配分していない人件費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間より、事業戦略をより明確に表現するため、セグメント名称を「ネクシィーズ・ゼロ事業」から「エンベデッド・ファイナンス事業」へ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

当第1四半期連結会計期間より、事業戦略をより明確に表現するため、セグメント名称を「電子メディア事業」から「メディア・プロモーション事業」へ変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結会計期間のセグメント情報は、上記の変更を踏まえて作成・記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。